

2025 年度第 2 回薬事委員会記録

日 時：2025 年 9 月 4 日(木) 16 時 00 分

場 所：医学部本館 小会議室

出席者：鈴木、白上、金森、津端、吉倉、田島、早崎、小川、田辺、山田、中村、高橋、清水、
吉田、馬場、中野、加藤(弘)、安田、小森、飯原、丹羽

代理出席者：酒井[糖尿病・内分泌代謝内科]、小原[耳鼻咽喉科]、井上[皮膚科]

委任状提出：渡邊、二村、酒々井、谷口、加藤(尚)、山口

欠席者：浅野、小椋、江頭、澤田、飯沼、大井、堀、加藤(博)、林、加賀、長瀬、堀川、久野、
松本

記録の承認

2025 年 6 月 5 日開催の薬事委員会の記録を承認した。

議 題

1. 医薬品の採用品目数について

現在の採用品目数と本会終了後の採用品目数について確認した。

2. 院内採用医薬品

① 医薬品の採用について

4 品目（ケレンディア錠 10mg、イブグリース皮下注 250mg オートインジェクター、バイ
フォータス筋注 50mg シリンジ、アウイクリ注 フレックスタッチ総量 300 単位）の採用
を承認した。

② 医薬品の新規申請について

2 品目（エパデル EM カプセル 2g、モノヴァー静注 500mg）の新規試用について、申
請診療科および薬剤部より説明を行い、承認可否の投票を実施した結果に基づき、全て
承認した。

③ 医薬品の製剤変更について

2 品目（プラリア HI 皮下注 60mg シリンジ 0.5mL、アデノシン負荷用静注 60mg シリン
ジ「FRI」）への製剤変更について申請診療科より説明を行い、承認可否の投票を実施し
た結果に基づき、承認した。

④ 医薬品の再採用について

2 品目（カナマイシンカプセル 250mg 「明治」、ボルヒール組織接着用（1mL））の再採用
について申請診療科より説明を行い、承認可否の投票を実施した結果に基づき、承認し
た。

⑤ 医薬品の採用中止について

7 品目（イコサペント酸エチル粒状カプセル 900mg 「TC」、カタプレス錠 75μg、タンド
スピロンクエン酸塩錠 10mg 「トーワ」、プレマリン錠 0.625mg、モルヒネ硫酸塩水和物
徐放細粒分包 10mg 「フジモト」、ベリプラスト P コンビセット組織接着用 1mL 製剤、マ
イトマイシン注用 2mg）の採用中止を承認した。

⑥ 医薬品の患者限定承認について

31 品目（アムノレイク錠 2mg、エザルミア錠 50mg^{*}・同 100mg^{*}、カルケンス錠 100mg、
トレムフィア皮下注 200mg ペン、ルンスミオ点滴静注 1mg・同 30mg、ヌーイック静注
用 2000^{*}、カムザイオスカプセル 1mg^{*}・同 2.5mg^{*}・同 5mg^{*}、レットヴィモカプセル 40mg
^{*}・同 80mg^{*}、ルプキネスカプセル 7.9mg^{*}、ファセンラ皮下注 30mg ペン^{*}、液状フェノ
ール「タイセイ」、無水エタノール「ヨシダ」、ウステキヌマブ BS 皮下注 45mg シリンジ
「F」、ビンゼレックス皮下注 320mg オートインジェクター^{*}、ウェリレグ錠 40mg、バル
バーサ錠 3mg・同 4mg・同 5mg、ポリミキシン B 硫酸塩散 50 万単位「ファイザー」、ハ

イキュービア 10%皮下注セット 5g/50mL・同 10g/100mL・同 10g/100mL・同 20g/200mL、パリンジック皮下注 2.5mg★・同 10mg★・同 20mg★、ラゲブリオ錠 400mg) の患者限定使用の承認を報告した。なお、★が記載されている 13 品目は院外においても患者限定使用を承認したことを報告した。

3. 院外採用医薬品

① 医薬品の採用について

9 品目(ベルスピティ錠 2mg、ウチダのコウイ M、ビヨントラ錠 400mg、ウェリレグ錠 40mg、バルバーサ錠 3mg・同 4mg・同 5mg、メラトベル錠小児用 1mg・同 2mg) の新規採用を報告した。

② 医薬品の採用規格追加について

ヒルドイドローション 0.3% (150g/本) の採用規格追加を報告した。

③ 医薬品の剤形変更について

2 品目 (カナグル OD 錠 100mg、ラゲブリオ錠 400mg) への剤形変更を報告した。

④ 医薬品の採用中止について

2 品目 (ベンザリン錠 5、ペンタサ注腸 1g) の採用中止を報告した。

4. 医薬品の販売中止について

19 品目 (アモバン錠 7.5・同 10、ガスマチン散 1%、カルナクリンカプセル 25、コバシル錠 4mg、セディール錠 20mg、ノイエルカプセル 200mg、プロプラノロール塩酸塩徐放カプセル 60mg「サワイ」、リーバクト配合経口ゼリー、ルブラック錠 4mg、アレギサル点眼液 0.1%、イドメシンコーワゲル 1%、サンピロ点眼液 0.5%・同 3%、デルモベートスカルプローション 0.05%、デルモベート軟膏 0.05%、パピロックミニ点眼液 0.1%、ラクリミン点眼液 0.05%、リボスチン点眼液 0.025%) の販売中止を報告した。また、販売中止に伴い代替として 8 品目 (乳糖水和物「ヨシダ」、リセドロン酸 Na 錠 17.5mg「サワイ」、クロベタゾン酪酸エステル軟膏 0.05%「イワキ」、エダラボン点滴静注液 30mg バッグ「NP」、ベバシズマブ BS 点滴静注 100mg「CTNK」・同 400mg、フルチカゾン点鼻液 25µg 小児用「サワイ」56 噴霧用、クロベタゾールプロピオン酸エステルクリーム 0.05%「MYK」) への採用変更を報告した。

5. 後発医薬品への切り替えについて

医薬品購入額削減と診療報酬額増加を目的として、院内採用医薬品 8 品目について後発医薬品 (ジアゼパム錠 2mg「アメル」・同 5mg、ハロペリドール錠 1.5mg「アメル」、ラタノプロスト点眼液 0.005%「ニッテン」、ラタチモ配合点眼液「センジュ」、ブロムフェナク Na 点眼液 0.1%「日点」、ビマトプロスト点眼液 0.03%「SEC」、ペグフィルグラスチム BS 皮下注 3.6mg「モチダ」) への切り替えを報告した。また、3 品目 (ハロペリドール錠 0.75mg「アメル」・同 1mg・同 3mg) の院外後発医薬品の採用追加を報告した。

6. 当院における医薬品副作用報告事例について

2025 年 6 月から 2025 年 8 月までに医薬品医療機器総合機構へ報告した副作用症例について報告した。

7. 医薬品安全使用のための業務手順書について

2025 年 7 月に医薬品安全使用に関する業務手順書に基づいた業務実施状況の評価を実施した。全病棟にて C 評価の項目はなく、業務手順書に基づいた医薬品の安全使用ができてることが確認された。また、一部業務の運用方法の変更に伴い、業務手順書の改訂を行うことを報告した。

次回薬事委員会の開催日時は、2025 年 12 月 4 日(木)とした。